

# 人権だより

2019. 7  
北宇和高校人権委員会

6月は、1学期の人権・同和教育ホームルーム活動がありました。主題は、1年生「自分の周りに目を向けよう～様々な人権問題～」2年生「人権を獲得してきたあゆみに学ぼう～歴史学習の第2回目～」3年生「だれもが幸せな社会を実現させよう～確かな進路保障のために～」でした。

1-1



今日のホームルーム活動を通して互いのことが知ることができて良かったです。

1-2



大勢の人から様々な意見を聞くことができた。人権について考えていきたい。

1-3



少しくラスメイトと仲良くなれたような感じがしました。

2-1



中学校でも渋染一揆の勉強はしたけど、より深く知ることができました。

2-2



今日の学習を通して、宇和島でも一揆があったことを初めて知った。

2-3



正しいと思ったことは、とても強い力になるのだなと思いました。

3-1



知識は身に付いてきましたが、実践力をもっと身に付けていきたい。

3-2



学校の力強いバックアップのおかげで自信を持って「答えられません」と答えられそうです。

3-3



今回のホームルームで、就職差別に対する考えが深まり良かったです。

# 「ワンダー 君は太陽」上映会

人権・同和教育映画会(6月6日)の生徒アンケートは次のようになっています。

満足 84.7%、 やや満足 14.4%、 やや不満 0.0%、 不満 0.9%



みなさんの感想の一部を紹介します。  
映画会からしばらく時間が経ちましたが、  
もう一度振り返ってみましょう。

・今回の映画を見て、友達の大切さや家族の大切さを知ることができました。もし、これから生きていく中で、今日見た映画の人のような人がいたら、勇気を持って、自分から話しかけられるようにしていきたいです。

・誰かが何かを言っても見た目で判断するのではなく、勇気をもって何かコミュニケーションが取れるような人間になれるよう頑張りたいです。

・先生も言ってたけど、この映画の登場人物の一人でも欠けていたら、こんな結果にはならなかったと思います。

・自分の意志を、しっかりと持って行動することが大事だと学びました。

・オギーの母親が「心はその人の未来、顔はその人の過去を表す。」という言葉が印象に残りました。

・小5で学校に行くという決断をし、一步踏み出したところがえらいなと思いました。

・一番心に残った言葉があります。それは「狭い心の行いは、広い心で許してあげなさい」です。僕はこの言葉を忘れずに生きたいと思いました。

・私は周りの意見を気にしすぎて、みんなの前では、みんなに同調するか、ずっと黙っているかだと思っています。でもオギーが自分の学校にいたら、オギーと仲良くしたいです。

・僕もいろんなことで諦めたり辞めたりすることが多いけど、この映画を見て僕も諦めずにいろんなことに挑戦していきたいです。

・一人一人が主人公で、一人一人の人生があって、とても見ごたえがありました。そしてその人たちが一人でも欠けていたらオギーは折れてしまっていたかもしれないと思います。

・もし、これから生きていくなかで、今日見た映画のような人がいたら、勇気を持って自分から話かけられるようにしていきたいです。

・冗談半分で言ったことが友達を傷つける凶器になることがある。怖いと思いました。

・人と関わる上で何が大事か、いかに一步を踏み込む勇気が大変か、また踏み出したことで、どれだけ素晴らしい世界が待っているかを描いた、とても素敵な映画だと思いました。

・この映画で学んだことは「正義と親切を選ぶなら親切を選ぶこと。」「最後まであきらめないこと。」

・映画の中で何度も出てきた「君は一人じゃない。」という言葉が心に残りました。その通りだと思いました。

・主人公の子はとても強いと思う。いじめられても学校に行き続けていた。自分なら学校に行こうとも、外出しようとも思わない。言っていることと悪いことの判断をしなけりゃいけない。自分はふざけて言っても相手は傷つくかもしれない。主人公のように強い人になりたい。

・最後はハッピーエンドで終わっていたので、うれしく思いました。

・来年も映画を楽しみにしたいと思います。

(たくさんの感想を本当にありがとう。)

